

平成31（令和元）年4月5日開校



施設一体型小中一貫義務教育学校

向島秀蓮小中学校

【教育理念】「豊かな人間性を育み、人間力を高める」

【校訓】「自立」「清心」「貢献」



強く優しく生きる

清く明るく
生きる

わたしたちが
咲かせる花
向島

秀蓮

R8 向島秀蓮 小中学校 グランド デザイン

【京都市学校教育の重点 目指す子ども像】

伝統と文化に学び、次代と自らの未来を想像する子ども」

【学校教育目標】

未来をひらく人になる！
～果敢に挑戦、知らない自分に会いに行け～

【めざす学校像】

明日も来たい学校」

【めざす生徒像】

強い心を持って、進み続ける生徒」

【本校で身に付ける 6つの力】

- ・多様性を認める力
- ・コミュニケーション力
- ・折れない力
- ・自律的活動力
- ・発信する力
- ・考える力

- ・睡眠、食事、環境
- ・健康的に成長する
- ・運動に親しむ



BS)

- ・もういちど、なんども
- ・みんなといっしょに
- ・じぶたちでできる
- ・はなす、きく
- ・よいところを見つける
- ・いっぱいかんがえる
- ・はやくねる
- ・あさごはんをたべる
- ・そとであそぶ

【研究テーマ】

(学び、人育ち、健推、企画、管理、5部共通テーマ)

たこおじはっかの育成

「たこおじはっかで未来をひらく」

～ 考えよう、やってみよう、次はどうする？ ～

| 総合的な学習の時間(探究活動) | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------|----|--------|--------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|---------|
| 朝読書 | 清掃 | 給食 | ピアサポート | 生活のきまり | 貢献的活動 | 生徒会活動 | 部活動 | 学年活動 | 学級活動 | 学校行事 | 校外学習 | 文化的体験学習 |
| 英語・外国語 | 技術家庭 | 生活 | 体育・保健 | 美術・図工 | 音楽 | 理科 | 算数・数学 | 社会 | 国語 | 道徳の時間 | | |

道徳教育・人権教育

愛と熱

～生徒に愛あれ！教育に熱あれ！～

【めざす教職員像】

愛と熱ほとばしる伴走者たれ！～学び続け、高め合う教職員集団～

本校における日本語指導の変遷

向島二の丸小～向島秀蓮小中学校

<向島二の丸小学校>

- 平成4年(1992) 日本語教室設置
- 平成18年(2006)
～平成27年(2015) 漢語少年宮(中国語教室)設置

<向島秀蓮小中学校>

- 令和元年(2019年) 国際教室設置
- 現在 京都市日本語指導サポート校

向島秀蓮小中学校 外国籍生徒在籍

○韓国・朝鮮 ○中国 ○フィリピン
○ベトナム ○タイ ○ネパール

○インド

計34人

＊ 帰化している生徒は含めない

○支援の対象生徒

●外国からの編入

●外国にルーツがあり、日本生まれ日本育ちだが、家庭で日本語以外の言語を使っていて、学習に十分な日本語が育っていない生徒

京都市の帰国・外国人生徒に対する支援

☆特別の教育課程による日本語指導

☆日本語指導ボランティア（放課後）

☆通訳

ボランティア（対面）

teams（オンライン）



京都市の帰国・外国人生徒に対する支援

●特別の教育課程による日本語指導

<指導期間>原則2年

<指導時数>

◎来日すぐの生徒(日本語ゼロ)

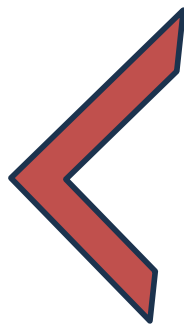
来日(指導開始)から1年・・・週2時間

指導開始後、1年から2年・・・週1時間→2年で終了

◎ある程度日本語ができる生徒

指導開始から1年・・・・・・週1時間

日本語指導
の時間
(週2時間)



教室で過ごす時間
20時間以上

***日本語指導の時間が足りない・・・**

京都市の帰国・外国人生徒に対する支援

●通訳ボランティアの派遣

<対象>外国にルーツの生徒や保護者

<内容>編入時、家庭訪問、懇談会、各種説明会

新規編入生徒への適応支援（授業の通訳は×）

※年度内生徒一人につき10回まで（来日初年度は20回）

※通訳申請は1週間前までに（国際教室から申請）

※個人面談等は**2倍の時間**を確保する

***準備・進行に時間がとてもかかる・・・**

京都市の帰国・外国人生徒に対する支援

●Teamsで通訳

保護者や生徒に聞きたいこと・伝えたいこと



母語支援員が、保護者に電話をかけたり、
生徒の話を聞き取ったりする。

英語・中国語・フィリピノ語

月～金 9:00～16:30

***通訳できる言語に限られる・・・
授業では使う事ができない・・・**

現場の困り

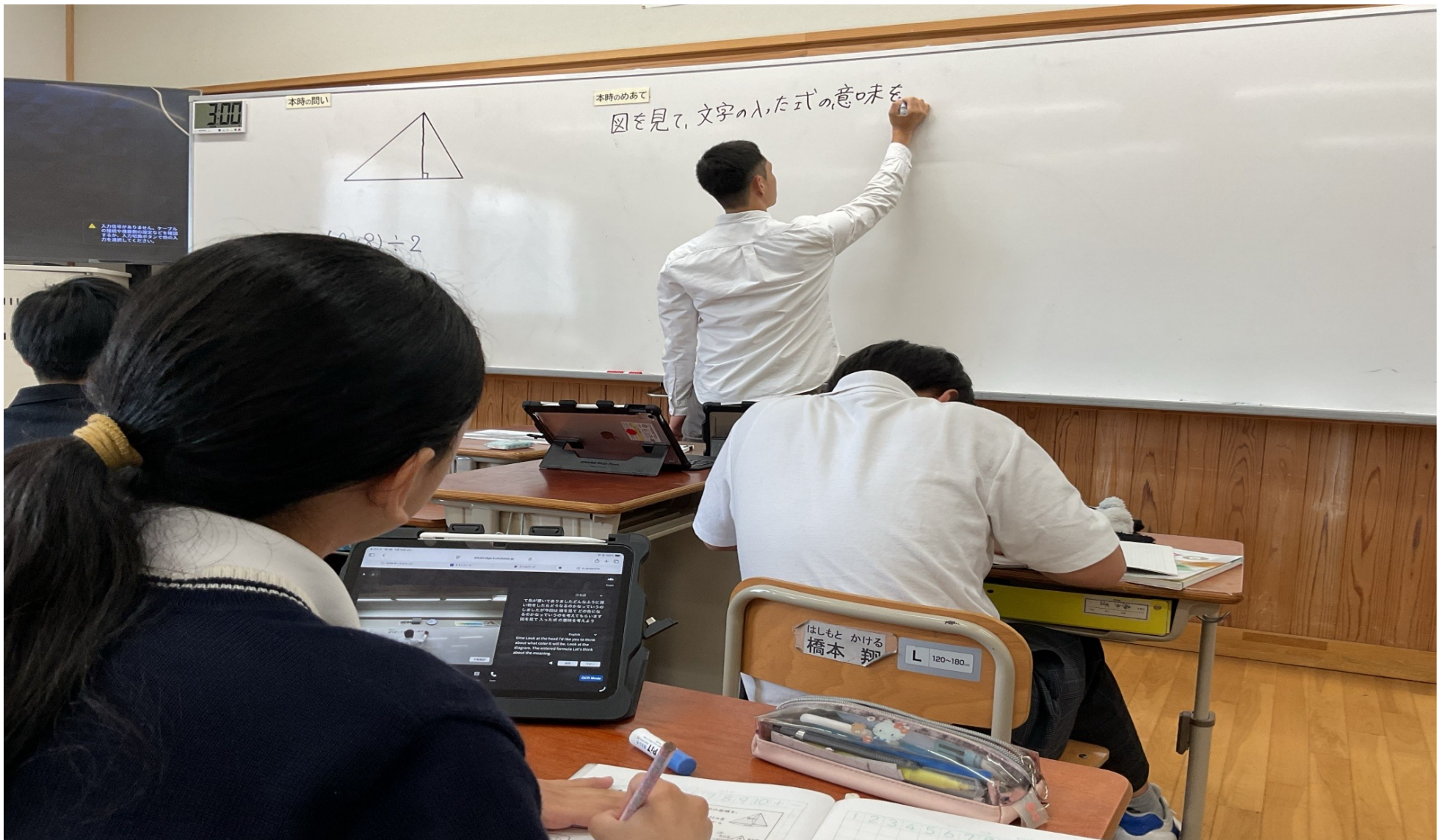
- * 日本語指導の時間が足りない・・・
- * 準備・進行に時間がとてもかかる・・・
- * 通訳できる言語が限られる・・・
授業では使う事ができない・・・



- ポケットーク • GIGA端末の活用

リアルタイム多言語翻訳
システム(edubridge)

リアルタイム多言語翻訳システムの活用



***日本語指導の時間が足りない・・・**

→日本語がリアルタイムで母語に翻訳されることで
わかる日本語が増える。

リアルタイム多言語翻訳システムの活用

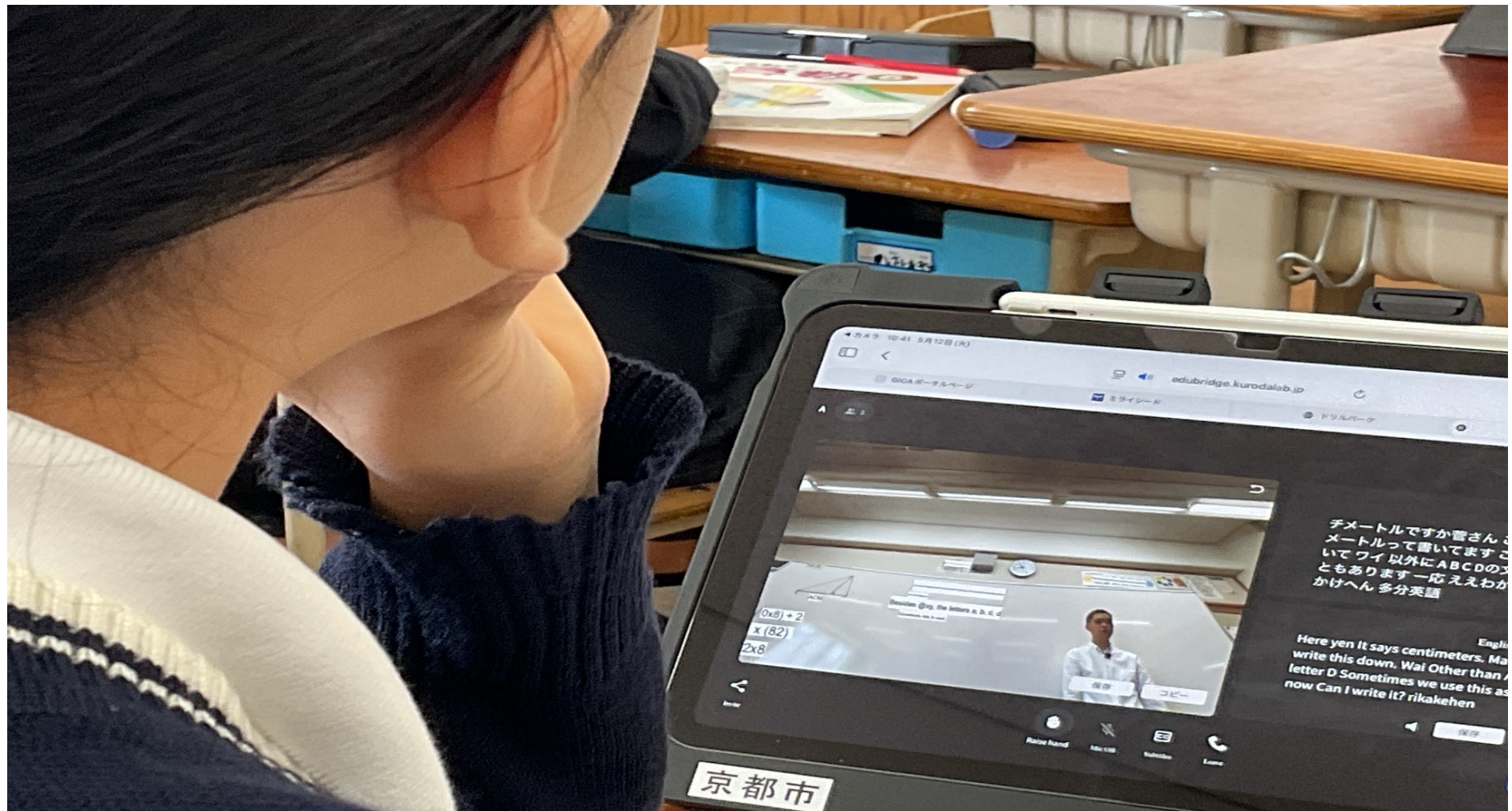


***準備・進行に時間がとてもかかる・・・**

→GIGA端末が2台のみでOK。

生徒が自分で用意することができる。

リアルタイム多言語翻訳システムの活用



- *通訳できる言語に限られる。授業で活用できない・・・
- 通訳できる言語が多く、本校生徒の母語に対応できる
- 授業で十分活用できる。

リアルタイム多言語翻訳システムの活用

◆外国人生徒支援以外の活用

- ・耳が不自由な生徒・保護者への支援
- ・特別支援教育の支援としての活用 など

◆使用する上で注意していること

- ・通訳者の代わりにはなるが、日本語指導が増えるわけではない。

→多言語翻訳システムに頼りすぎない。

向島秀蓮小中学校

未来をひらく人になる！

～果敢に挑戦、知らない自分に会いに行け～

目指す学校像

『明日も来たい学校』